

令和5年度（2023年度）第1回東海市幼児教育研究協議会会議録

1 会議名 令和5年度（2023年度）第1回東海市幼児教育研究協議会

2 議題

(1) あいさつ

(2) 各委員紹介

(3) 正副会長選出

(4) 報告事項

令和5年度（2023年度）事業計画について

(5) 協議事項

相互体験交流・授業参観について

(6) その他

3 開催日時 令和5年（2023年）4月25日（火）

15:00から16:30まで

4 開催場所 東海市役所 302会議室（3階）

5 出席者氏名

幼児教育研究協議委員13名

学校教育課指導主事 (会長) 佐々木淳志

明倫保育園長 (副会長) 高澤 智恵

元東海市立保育園長 大野久美子

上野台幼稚園長 中村 友美

上野台幼稚園主幹教諭 前床 佳奈

養父保育園長 平松 好美

木庭保育園 主任保育士 森 治子

富木島保育園 主任保育士 本山恵巳子

加木屋保育園 主任保育士 柳澤 純子

横須賀小学校長

加古 勲

三ツ池小学校 教頭

池田森太郎

(三ツ池小学校 教務主任 牧野 彰人の代理として参加)

明倫小学校 校務主任

小島 悠揮

事務局

幼児保育課長

小島 英泰

幼児保育課 指導保育士

川口 満子

幼児保育課 幼児教育専門員

加藤 郁子

## 6 欠席者氏名

市民福祉部長

辻 聡子

学校教育課 指導主事

佐々木淳志

主任児童委員

杉江 美咲

7 公開・非公開の別 公開

8 傍聴者の数 0人

## 9 発言の内容

### (1) あいさつ

幼児保育課長

小島 英泰

本日は御多忙の中、御出席いただきありがとうございます。教育・保育現場の方たちの実践や協議は大変貴重だと思います。幼児教育研究協議会の事業について色々勉強したいと思います。

### (2) 各委員紹介（自己紹介）

東海市幼児教育研究協議会委員 11名

事務局 3名

### (3) 正副会長選出

会長 学校教育課指導主事 佐々木 淳志

副会長 明倫 保育園長 高澤 智恵

#### (4) 副会長あいさつ

コロナ禍は大変であったが、保育園行事の見直しをし、子どもの姿に合わせて内容を考えることができ収穫もあった。

もうすぐ授業参観が始まります。昨年度から特別支援学級の授業参観もさせていただいている。子どもが力を十分に発揮するために、教育に関わる我々が子ども理解、お互いの教育の理解をして事業を進めていくことが大切である。

懸け橋プログラムにも記されている「10の姿」をお互いが理解し、懸け橋期を考えていくことができるとうい。そのために、たくさんの先生方に事業に参加して御意見をいただきたい。

#### (5) 報告事項

令和5年度（2023年度）事業計画について

別紙2参照

- ・ 第2回協議会を12月に予定している。同日協議会後に小学校・幼稚園・保育園・認定こども園の職員と小学校教諭の合同研修会を予定している。
- ・ 授業参観には委員の皆様にもぜひ参加いただき、ご意見をお願いしたい。
- ・ 保育参観と研究協議について、就学を間近に控えたこの時期の園児の姿を参観していただき、研究協議に参加していただくことは大変有意義であると考えます。日程が決まりましたらご案内します。
- ・ 保育参観は、木庭保育園1月31日（水）、みどり保育園1月23日（火）、高横須賀保育園2月1日（木）、加木屋保育園1月30日（火）に実施します。後日ご案内を差し上げます。なお、参加対象校・対象園のグループ以外の園への参加も可能である。
- ・ 小学校教諭と保育園保育士・幼稚園教諭・認定こども園保育教諭の相互体験交流の実施期間について、記載してある期間以外でも実施

可能である。それぞれが生活を体験して子ども理解をし、それぞれの学習方法を知ることを目的とする。

- ・ 幼稚園児・保育園児・こども園児との交流は、幼稚園3園、認定こども園2園と保育園5園とで実施する予定である。他園の友達と交流を持てるよい機会であると報告を受けている。該当園には後日案内させていただきます。
- ・ 公開保育について、東山保育園は10月31日（火）、平洲保育園は11月1日（水）、明佳幼稚園は11月10日（金）です。
- ・ 研究紀要42号の担当園は公開保育実施園の3園となる。
- ・ 広報紙「かきつばた」については、年6回の発行を予定し、協議会内容や各事業を報告する。

## (6) 協議事項

### ① 授業参観・協議会及び事業について

川口：授業参観後の協議会の司会・進行は今年度も事務局が担当し、教務の先生には意見を引き出していただくようお願いする。

参観の視点は「幼児期において“自発的な活動の遊び”を通して育まれたことが、学習に円滑に接続されるために」と示させていただく予定です。「自発的な活動の遊びが、学習に円滑に接続される」ことを念頭に置き、今後どのようにしていくとよいのか話し合っていきたい。

### <意見>

大野委員：今の子どもの成長を観察することは貴重である。いろいろな人の意見を聞くことができるのが協議会の良いところである。

加古委員：ここ2年間、幼保が熱心にこの事業に取り組んでいる姿を見てきた。小学校でも幼保の教育をよく理解して進めていきたい。東海市幼児教育研究協議会の事業は、市内の関係施設に浸透しつつある。お互いの教育を見合うことを続けていくことで連携につながり、それを地道にやる事に意義があると思う。

池田教頭：昨年度保育参観に参加した。制作の時間にでんぷん糊を素手で使っていた。幼保でしか経験できない素晴らしい経験をさせてもらっていると感じた。失敗をおそれず小学校でも力を発揮してもらいたい。授業参観では、できているという目に見える姿のみならず、幼保の経験が内面でつながっている部分もある。内面で効果があることも知っていただく機会となればと思う

小島委員：ずっと中学校勤務であった。初めての小学校勤務となり大きなギャップがある。小学校と中学校との連携もとても大切であるが同時に小学校と幼保との連携もとても大切であると思う。今年度は幼保と小の連携について学び、自分も成長したい。

平松委員：昨年度保育参観を実施した。いろいろな機関の先生が保育参観をし、協議することはとても大切なことだと思う。

中村委員：昔から続いている事業に参加させていただくこととなった。授業参観では、卒園児が在籍する特別支援学級を参観させていただくことを楽しみにしている。

前床委員：幼保小の先生同士が話し合うことはとても大切だと思う。主幹教諭立場になりまだ日が浅いが、クラス担任をしていた時を思い出して考えていきたい。

森委員：先日の担当者会議を終え、ある主任保育士が“年長児が小学校を見学したり、遊びに行かせていただいたりする予定をしている”と話していた。当園もできる範囲で積極的に交流を持っていきたい。

柳澤委員：この事業で大切にしていけることが理解できた。小学校の先生と話し合う中で共通理解できることがたくさんあると思う。自分も意見を出し、一緒に考えていきたい。

本山委員：よい機会を与えていただいたので、保育園で培った力がどのようにつながっていくのか、考えていきたい。

## (7) その他

令和4年度 研究紀要No.41について、只今印刷依頼している。完成したらお配りする。委員の方もご覧いただきたい。

(8) 閉会

いろいろご協議いただきありがとうございました。この一年、幼児教育研究協議会の各事業に対して、格別のご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

以上

記録作成者

幼児保育課

加藤 郁子

議事録確認委員

会 長

佐々木淳志